

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	子育て支援室の運営と子育て支援事業の実施・家庭の教育力向上事業	担当者	教育委員会 子育て支援室
-------	---------------------------------	-----	--------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	1. 個性を尊重し、心豊かな人生を送れる村／教育文化の向上／子育て支援、家庭教育の支援
関連する主な計画等	阿智村子ども・子育て支援事業計画
根拠法	児童福祉法、子ども・子育て支援法
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	乳幼児とその保護者
事業開始年	H12 <input type="checkbox"/> 時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の終期 <input type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	交流を行う場や情報提供をし、子育ての援助を行う。児童およびその家庭状況を把握し、必要な支援を提供する。特別な支援が必要となる児童、家庭の状況を一元的に収集し、支援を継続する。
具体的取組	交流を行う場や情報提供では、子ども広場やつどいの広場の開所、1、2歳児教室の開催、子育て講座を実施した。また、27年度からは孫育て講座を開催し、祖父母の方々へ最近の子育て事情の情報提供を行った。広場や教室等を通じて、子育てについての相談に応じ、支援が必要な家庭には、たんぼぼ教室へつなげたり、臨床心理士や保健師の援助をお願いしている。また、たんぼぼ教室で関わった子どもが保育園へ入園する場合は、引継ぎを行っている。

実績・効果	<p>【子ども広場】27年度から常設としたことにより、上手に活用している親子が増え、年間延べ1,317組の利用となった。毎月1回は、浪合と清内路へ出かけ、つどいの広場を開催している。</p> <p>【各教室】年齢に応じた特徴を学ぶことで、自分だけが悩んでいるのではないという安心感になっている。また、臨床心理士の存在が定着し、相談が増えている。</p> <p>【孫育て講座】27年度から事業に位置づけ年4回開催した。第4回目に行った講演会は約20名の参加があった。</p> <p>【子育て支援ネットワーク会議】要保護児童とその保護者の支援のためケース会議を開催し、関係機関との連携を図った。</p>
-------	---

歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	報酬	1,275	人件費	13,776	賃金	615
講師謝礼	222	旅費	43	食料費	14	
消耗品	273	子育て短期支援事業委託料	3	保育サポーター保険料	29	
研修会等負担金	52					

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	15,668	17,489	16,302	16,324	16,224
うち一般財源	11,761	11,828	9,838	9,838	9,738	
うち補助金	3,894	5,648	6,460	6,466	6,466	
うち個人負担	13	13	4	20	20	
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1	1
	臨時職員	2	2	2.5	2.5	2.5

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	子育て中の保護者の交流や情報提供の場として必要	A
	手段、成果は妥当か	a	対象者や目的を明確にして事業を行っている	
	対象者の設定は妥当か	a	乳幼児とその保護者が対象の事業	
	村の関与は妥当か	a	村で行う事業であるが委託も可能	
有効性	期待された効果が得られたか	子ども広場を常設したことで利用者が増えた	A	
効率性	コストの削減に努めたか	a	消耗品や講師謝礼など必要最小限とした	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	職員の増員により子ども広場の常設実施	
公平性	受益者負担は適切か	原則受益者負担は無いが食材費については実費の負担あり	A	
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	相談内容が多様化しており、個々に対応しなければならないケースが増加している。関係機関も多岐にわたり、一層の連携が必要となっている。
今後の取り組み	関係機関と情報共有を図り、役割分担を明確にすることで支援を行っていく。ライフステージが変わっても支援が途切れることのないように、節目を迎える際のケースの引継ぎを丁寧に行う。